平成24年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月27日

上場会社名　前田工繊株式会社　　上場取引所　東
コード番号　7821　URL　http://www.maedakosen.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 前田　征利
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼経営管理本部長　(氏名) 森山　明　TEL 0776-51-3535

四半期報告書提出予定日　平成24年8月3日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第3四半期の連結業績(平成23年9月21日～平成24年6月20日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第3四半期	12,712	29.1	1,196	53.2	1,214	51.7	1,074	171.8
23年9月期第3四半期	9,846	1.3	780	△36.2	800	△34.9	395	△39.1

(注)包括利益　24年9月期第3四半期　1,083百万円　(176.3%)　23年9月期第3四半期　392百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第3四半期	214.15	213.56
23年9月期第3四半期	78.95	78.71

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第3四半期	17,721	11,259	63.5
23年9月期	15,352	10,347	67.4

(参考) 自己資本　24年9月期第3四半期　11,259百万円　23年9月期　10,347百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	―	0.00	―	22.50	22.50
24年9月期	―	15.00	―		
24年9月期(予想)				15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年 9月期の連結業績予想(平成23年9月21日～平成24年9月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,300	24.8	1,500	48.7	1,540	49.3	1,270	136.2	253.20

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期3Q	5,035,760 株	23年9月期	5,011,760 株
② 期末自己株式数	24年9月期3Q	321 株	23年9月期	169 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期3Q	5,017,314 株	23年9月期3Q	5,007,161 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）重要な後発事象 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要による堅調な内需に水を差しかねなかった夏場の電力供給不安も払拭されました。一方で、消費税増税をめぐる政局の混乱、株式相場の低迷、欧州債務危機の影響による円高圧力、新興諸国の景気減速など、内外の圧力により景気の先行きは予断を許さない状況であります。

このような状況のなか、当社グループの主事業である環境資材事業におきましては、被災地に対して復興関連資材を安定供給することで、当社の使命を果たしてまいりました。また、前期から引き続き、子会社北原電牧株式会社の業績は好調に推移いたしました。

テクニカルサービス事業におきましては、当第３四半期に子会社化したテクノス株式会社との相乗効果を発揮すべく、融合を図ってまいりました。

その他の事業の業績は、前四半期から引き続き概ね順調に推移しております。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は12,712百万円（前年同四半期比29.1%増）となりました。利益面におきましては、営業利益は1,196百万円（同53.2%増）、経常利益は1,214百万円（同51.7%増）となりました。なお、四半期純利益は、平成24年４月２日にテクノス株式会社の株式を取得し子会社化したことに伴い、負ののれん発生益468百万円を特別利益に計上したこともあり、1,074百万円（同171.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（環境資材事業）

環境資材事業では、厳しい経営環境に変化はありませんでしたが、復興関連資材の需要が本格的に出てきたことに加え、子会社北原電牧株式会社が取り扱う鳥獣害対策製品が順調でありました。この結果、売上高は11,446百万円（前年同四半期比30.3%増）、営業利益は1,482百万円（同46.3%増）となりました。

（テクニカルサービス事業）

テクニカルサービス事業では、当第３四半期に子会社化したテクノス株式会社の業績が加わり、売上高は693百万円（前年同四半期比30.0%増）、営業利益は131百万円（同4.1%増）となりました。

（その他の事業）

その他の事業の業績は、概ね順調に推移した結果、売上高は572百万円（前年同四半期比8.7%増）、営業利益は27百万円（同85.2%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,369百万円増加し、17,721百万円となりました。これは主に、現金及び預金が385百万円、受取手形及び売掛金が1,226百万円、たな卸資産が255百万円、有形固定資産が576百万円それぞれ増加したことによるものであります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,457百万円増加し、6,462百万円となりました。これは主に、短期借入金が900百万円、未払金が142百万円、未払法人税等が179百万円、賞与引当金が141百万円それぞれ増加したことによるものであります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ911百万円増加し、11,259百万円となりました。これは主に、利益剰余金が886百万円増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年４月27日の「特別利益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成23年９月20日)	当第３四半期連結会計期間 (平成24年６月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,629,062	3,014,222
受取手形及び売掛金	4,779,257	6,005,346
商品及び製品	1,561,263	1,923,644
仕掛品	222,234	281,507
原材料及び貯蔵品	1,248,339	1,082,234
繰延税金資産	200,381	289,504
その他	84,584	35,569
貸倒引当金	△12,601	△25,144
流動資産合計	10,712,523	12,606,884
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,168,314	3,898,459
減価償却累計額	△2,070,386	△2,471,899
建物及び構築物（純額）	1,097,927	1,426,560
機械装置及び運搬具	2,315,697	2,899,404
減価償却累計額	△1,949,844	△2,458,844
機械装置及び運搬具（純額）	365,853	440,559
土地	1,546,710	1,763,444
建設仮勘定	124,780	67,093
その他	963,389	1,087,280
減価償却累計額	△862,265	△971,834
その他（純額）	101,124	115,446
有形固定資産合計	3,236,397	3,813,104
無形固定資産		
のれん	264,619	208,421
ソフトウエア	46,674	299,922
ソフトウエア仮勘定	219,520	2,604
その他	21,102	20,304
無形固定資産合計	551,917	531,252
投資その他の資産		
投資有価証券	321,786	224,168
繰延税金資産	372,425	338,387
その他	186,317	216,165
貸倒引当金	△28,508	△7,997
投資その他の資産合計	852,020	770,723
固定資産合計	4,640,334	5,115,080
資産合計	15,352,858	17,721,965

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成23年９月20日)	当第３四半期連結会計期間 (平成24年６月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,873,225	2,828,310
短期借入金	―	900,000
1年内返済予定の長期借入金	―	24,928
未払金	566,368	708,573
未払法人税等	148,120	327,664
賞与引当金	300,549	441,884
設備関係支払手形	124,121	18,780
その他	100,271	179,374
流動負債合計	4,112,656	5,429,516
固定負債		
長期借入金	―	28,750
繰延税金負債	46,046	38,284
役員退職慰労引当金	622,166	667,842
退職給付引当金	223,265	297,406
その他	1,019	815
固定負債合計	892,496	1,033,098
負債合計	5,005,152	6,462,614
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,035,567	1,043,787
資本剰余金	995,195	1,003,415
利益剰余金	8,326,741	9,213,129
自己株式	△162	△397
株主資本合計	10,357,340	11,259,934
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△9,635	△3,856
為替換算調整勘定	―	3,273
その他の包括利益累計額合計	△9,635	△583
純資産合計	10,347,705	11,259,350
負債純資産合計	15,352,858	17,721,965

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 (自　平成22年９月21日 至　平成23年６月20日)	当第３四半期連結累計期間 (自　平成23年９月21日 至　平成24年６月20日)
売上高	9,846,148	12,712,952
売上原価	6,081,658	8,096,223
売上総利益	3,764,489	4,616,728
販売費及び一般管理費	2,983,564	3,420,459
営業利益	780,925	1,196,269
営業外収益		
受取利息	5,132	3,104
受取配当金	1,369	1,881
為替差益	－	9,388
業務受託料	4,766	－
保険解約返戻金	6,626	－
受取保険金	－	3,661
その他	5,472	4,797
営業外収益合計	23,367	22,833
営業外費用		
支払利息	1,390	2,871
減価償却費	1,557	1,466
その他	487	49
営業外費用合計	3,434	4,387
経常利益	800,857	1,214,715
特別利益		
固定資産売却益	20	157
投資有価証券売却益	58	－
負ののれん発生益	－	468,343
貸倒引当金戻入額	14,812	－
特別利益合計	14,891	468,501
特別損失		
固定資産売却損	217	8,211
固定資産除却損	166	1,940
投資有価証券売却損	395	875
投資有価証券評価損	16,170	21,782
ゴルフ会員権売却損	－	5,064
その他	600	1,405
特別損失合計	17,549	39,281
税金等調整前四半期純利益	798,199	1,643,934
法人税、住民税及び事業税	436,223	578,662
法人税等調整額	△33,361	△9,169
法人税等合計	402,862	569,493
少数株主損益調整前四半期純利益	395,337	1,074,441
四半期純利益	395,337	1,074,441

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 (自　平成22年９月21日 至　平成23年６月20日)	当第３四半期連結累計期間 (自　平成23年９月21日 至　平成24年６月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	395,337	1,074,441
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,235	5,778
為替換算調整勘定	－	3,273
その他の包括利益合計	△3,235	9,051
四半期包括利益	392,101	1,083,493
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	392,101	1,083,493

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

前第３四半期連結累計期間（自　平成22年９月21日　至　平成23年６月20日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	環境資材事業	テクニカルサービス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,785,846	533,513	9,319,359	526,788	9,846,148	－	9,846,148
セグメント間の内部売上高又は振替高	5	29	35	124,348	124,383	△124,383	－
計	8,785,851	533,543	9,319,395	651,136	9,970,531	△124,383	9,846,148
セグメント利益	1,013,399	126,011	1,139,410	14,748	1,154,158	△373,233	780,925

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不織布事業を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△373,233千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△374,733千円が含まれております。なお、全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

当第３四半期連結累計期間において、北原電牧株式会社の株式を取得したため、環境資材事業セグメントにてのれんを認識しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、87,197千円であります。

当第３四半期連結累計期間（自　平成23年９月21日　至　平成24年６月20日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	環境資材事業	テクニカルサービス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,446,928	693,444	12,140,373	572,579	12,712,952	－	12,712,952
セグメント間の内部売上高又は振替高	10,017	2,165	12,183	135,345	147,528	△147,528	－
計	11,456,946	695,609	12,152,556	707,924	12,860,480	△147,528	12,712,952
セグメント利益	1,482,851	131,150	1,614,002	27,320	1,641,322	△445,052	1,196,269

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不織布事業を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△445,052千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

第３四半期連結会計期間から、「その他」に含まれていた「テクニカルサービス事業」について量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第３四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第３四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（重要な負ののれん発生益）

当第３四半期連結累計期間において、テクノス株式会社の株式を取得し子会社化したことに伴い、テクニカルサービス事業セグメントにおいて負ののれんを認識しております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、468,343千円であります。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

該当事項はありません。